

<p>2011年 6月30日</p>	<h1>日仏社会学会ニュース</h1>	<p>No. 33 日仏社会学会事務局</p>
------------------------	---------------------	-----------------------------

<記事>

1. 研究例会について
 2. 2011年度日仏社会学会大会について
 3. 日仏コロークについて
 4. 大会「自由報告」の募集について
 5. 『日仏社会学会年報』(第21号)への投稿論文等の募集について
 6. 新入会員の紹介
 7. 会費納入のお願い
-

1. 研究例会について

来たる7月31日(日)、関西学院大学大阪梅田キャンパスにおいて、日仏社会学会研究例会を開催いたします。奮ってご参加ください。詳細は以下です。

日時 : 2011年7月31日(日) : 14:40-16:30

場所 : 関西学院大学大阪梅田キャンパス1003号室

(大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー10階)

報告者 : 雪村まゆみ(関西学院大学先端社会研究所 リサーチ・アシスタント)

「アニメーションの制度化と空間の再編成」(仮)

司会 : 江頭大蔵(広島大学)

コメンテーター : 藤吉圭二(高野山大学)

2. 2011年度日仏社会学会大会について

2011年度の日仏社会学会大会は、来たる10月22日(土)、日仏社会学会創立75周年を記念し、日仏会館において、開催する運びとなりました(共催:日仏会館)。シンポジウムのテーマは、「グローバル化時代における安全/安心社会の構築—日仏比較の視点から(仮題)」です。なお、大会のスケジュールおよびシンポジウムの報告タイトル等については9月中旬発送予定のプログラムでお知らせいたします。奮ってのご参加を宜しくお願いいたします。

3. 日仏コロークについて

来る11月3日、4日に、社会科学高等研究院（フランス、パリ）にて、日仏コローク「グローバル化時代における新たな文化の生成—文化的多様性の理解と平和の構築」を開催いたします。報告者は決定しておりますが、参加は自由です。

4. 大会「自由報告」の公募について

本年度も、下記要領によって、2011年度日仏社会学会大会の「自由報告」を公募しますので、多数ご応募下さい。

- 1) 内 容 (1) フランス社会学に関するもの
(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの
(3) 日仏社会の比較研究に関するもの
- 2) 報告時間 20分（プラス5分間の質疑応答）
- 3) 申込方法 葉書、FAXまたはe-mailで、報告テーマ、氏名、所属を日仏社会学会事務局までお知らせ下さい。
(FAX 番号:0798-54-6953, e-mail:nichifutsusocio@gmail.com)
- 4) 応募締切 2011年7月31日（必着）

5. 『日仏社会学会年報』（第21号）への投稿論文等の募集について

2011年度発行予定の『日仏社会学会年報』（第21号）への論文等の投稿を、以下の要領で募集いたします。

- 1) 原稿締切：2011年8月31日
- 2) 原稿送付先：〒719-1197 岡山県総社市窪木111 岡山県立大学保健福祉学部
近藤理恵宛（『日仏社会学会年報』編集事務局）
電話0866-94-2192 e-mail:kondo@fhw.oka-pu.ac.jp
- 3) 投稿規定
 - 1) 本誌に発表する論文等は、(1) フランス社会学に関するもの、(2) フランス社会（社会思想史を含む）に関するもの、(3) 日仏社会の比較研究に関するもののうち未発表のものに限る。
 - 2) 使用言語は日本語、フランス語、または英語のいずれかとする。
 - 3) 論文は 400字詰め原稿用紙換算50枚程度
(図表等を含め約20,000字。フランス語または英語の場合は約5,000語)
 - 4) 研究ノートは 400字詰め原稿用紙換算30枚以内
(図表等を含め約12,000字。フランス語または英語の場合は約3,000語)
 - 5) 資料紹介、書評および内外研究動向は 400字詰め原稿用紙換算20枚以内。
(約8,000字。フランス語または英語の場合は約2,000語)

6) 論文、研究ノートには仏文または英文タイトルを付し、論文には 300語以内の仏文または英文の要約、研究ノートには 200語以内の仏文または英文の要約を添付する。

7) 原稿はワープロ原稿とし、打ち出し原稿 3 部にCD-Rを添えて、簡易書留にて送付のこと。なお、原稿を送付する際に、著者名（英文付記）と所属、著者の連絡先（住所、電話、ファックス、Eメールアドレス）を書いた用紙 1 枚も送付のこと。

8) 図表については版下作製に別途費用を要する場合には実費負担とする。

9) 引用文献等の記述形式は以下のとおりとする。

- ・ 本文には注の番号のみを記載し、引用文献、参考文献等は末尾に置く。
- ・ 著書の場合には、著者名、書名、出版社名、出版年、引用頁を記載する。
- ・ 論文の場合には、執筆者名、論文名、掲載誌名、巻号、発行機関、発行年、引用頁を記載する。

10) 投稿論文等については、編集委員会が委嘱する審査委員による審査を行い、審査結果に基づいて掲載の可否を決定する。審査委員が指示した論文等の修正が出版期日に間に合わなかった場合、その審査は次年度に継続される。

11) 本誌に掲載された論文等の著作権は、本学会に属するものとする。ただし、著者が後日、自分の論文等を著書等に編集する場合は原則としてこれを認め、著作権料を徴収しないものとする。

6. 新入会員の紹介

<新入会員>

梶原垂貴 (H. E. F DURFERRIT JAPAN株式会社)、Garance Ducros (名古屋大学)、金瑛 (京都大学大学院)、村田賀依子 (奈良女子大学大学院)

7. 会費納入のお願い

2011年度もお早めに会費を納入下さいますようお願いいたします。2008、2009、2010年度会費未納の方は、これも併せてご納入下さい。会費は5,000円（院生会員は3,000円）です。また、新入会員の方は入会費1,000円も併せてご納入ください。

日仏社会学会事務局

〒662-0891 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学人間福祉学部内（山泰幸研究室）

TEL/FAX 0798-54-6953

nichifutsusocio@gmail.com

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/sjfs/>

郵便振替口座 00960 - 6 - 278804 口座名 日仏社会学会